

羅鵬飛ゼミ

法政大学経営学部

2025年度

担当教員紹介

- 羅 鵬飛（ら・ほうひ）
- 法政大学 経営学部 経営戦略学科 准教授
- 専門は国際金融論。中国山東省済南市出身。2009年に来日し、一橋大学大学院商学研究科 博士後期課程修了（博士：商学）。
- その後、一橋大学経営管理研究科特任講師、摂南大学 経済学部 講師を経て、2025年より現職。
- 担当授業：国際金融論、入門外国語経営学（学部）/国際金融特論（大学院）
- 外部委員歴：経済産業研究所、日本証券経済研究所、日本経済研究所など
- 連絡先：luo@hosei.ac.jp

担当教員の研究分野と主要研究テーマ

国際金融論とは、国家間の資金の流れや為替レート、国際的な金融政策・制度の動きを分析する経済学の一分野であり、グローバル経済における金融の仕組みとその影響を理論と実証の両面から探究する学問である。

主な研究テーマ

- 為替レート決定理論と実証分析
- 国際資本移動
- 国際金融政策と規制の影響分析
- 金融危機とグローバルリスク管理
- グローバル金融市場と金融商品
- 国際食糧価格決定メカニズム

詳しい研究業績：<https://researchmap.jp/pengfei.luo>

ゼミのテーマ：世界経済における タイムリーな課題に関する研究

- 本ゼミでは、国際経済に関する多様な現代的課題を取り上げます。
- 経済学・金融学の基本文献を輪読し、国内外の経済情勢への理解を深めるとともに、
- データ分析や政策評価の手法を学び、実証的に世界経済の変化を捉える力を養います。

ゼミの進め方

- 2025年度初年度開講。新2年生、3年生募集。毎週、火曜日4限の15時～16時40分に実施。
- テキスト輪読を基本とします。
 - 毎回、ゼミの前に全員がテキストの要約レジュメを作成
 - 担当グループが輪読テキストの内容を報告
 - 報告後、参加者全員で輪読内容の質疑・議論をおこない、教員による経営学・経済学の補足説明を行う。
- 後半には、各自またはグループで国際経済にかかわる研究テーマを自由に設定し、調査・分析を行う。
- ゼミ活動：年に1～2回、本演習に関連する施設の外部見学を実施予定。親睦会やゼミ合宿の実施についても話し合っ
て決定します。

今年度の予定学習内容

- 春学期：国際経済における自由貿易の理論と現実
- 秋学期：国際金融とデータ分析
- 予定輪読テキスト：
 - 椋寛, 『自由貿易はなぜ必要なのか』, 有斐閣, 2020
 - 中室牧子, 津川友介, 『「原因と結果」の経済学—データから真実を見抜く思考法』, ダイヤモンド社, 2017
- ※その他の文献も授業内で適宜紹介します。新聞・ネット記事などで自発的に関連情報なども活用しましょう。